

特集:「咲くやこの花館」の個性満開の草花たち

名物館長と巡る!

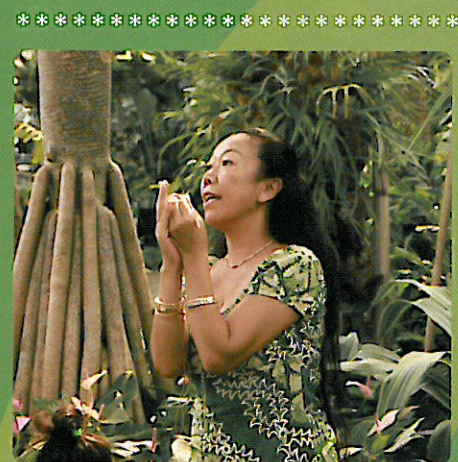
植物界の凄キャラ探訪ツアー!!



「きっと、もっと、植物が大好きに!!!」 フラワーツアー定期便

フラワーアテンダントがお客様と一緒に館内を回り、花にまつわる様々なエピソードや由来などを楽しくご紹介いたします。きっと植物の新たな魅力を発見できますよ!

- 時間: 休館日を除く毎日 11:00, 13:00, 15:00の1日3回
- 所要時間: 約1時間(夏季は30分)
- 参加費: 無料(別途入館料)
- 定員: 各回20名(先着順/当日出発30分前より館内案内所にて受付)
- ※イベント時は休止している場合がございます
- ※団体(10名~20名)での参加の場合は、事前予約が必要です。詳しくは06-6912-0055までお問合せください。



「ハワイの大きな自然を愛する人に!!!」 フラワーツアー特別便 ハワイフラワーツアー

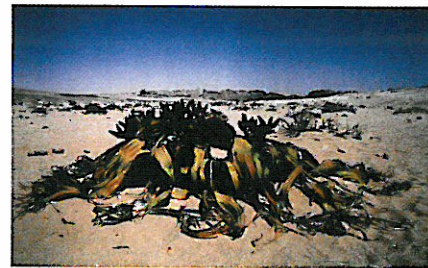
日本人のハワイへの関心は年々増していると言われていいます。裕子 Cambra さん(カウアイ島、リマフリガーデンのボランティア)と一緒に、「咲くやこの花館」内のハワイにちなんだ植物を見て、その魅力を聞きながら、ハワイ固有の植物が消えつつある理由にも思いをはせてみませんか? もちろん楽しい話だけでなく、ハワイの文化の楽しいお話もいっぱい! 当館オススメのツアーです。

- 毎月第2土曜日 10:30~・13:30~
- 所要時間: 約45分
- 参加費: 無料(別途入館料)
- 定員: 各回10名(先着順/当日出発30分前より館内案内所にて受付)
- ※イベント時は休止している場合がございます
- ※予定が変更になることもございますので事前にお問合せください。

*メタボ知らずの長老

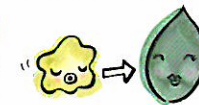
キソウテンガイ

植物を短期間で育てるのには畑のような肥沃な土地が適していますが、長生きには痩せた土地の方が向いているのです。アフリカの南部ナミブ砂漠に自生するキソウテンガイには、湿気のある海風で5千年以上生きているものもあります。以前に話題を集めた、ご存知「ど根性ダイコン」。過酷な環境で育つ様子はとても気の毒で、ど根性が踏ん張っているように見えますが、じつはそうでもありません。痩せ地によるメタボ知らずが長寿の秘訣。

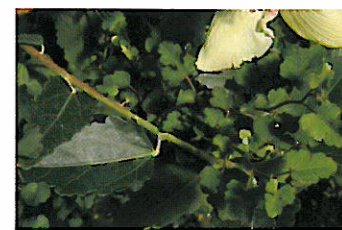


*変身のスペシャリスト!!

ヒビスクス・インスタリス



ハイビスカスの原種のひとつ、ヒビスクス・インスタリスは若い時は「先祖の葉」と思われる幼葉を持ちますが、成長するにつれ、進化した形状の成葉に変ります。日本ではカクレミノが、成長の途中に葉のカタチを変えることで有名です。ちなみにヒビスクス・インスタリスはオーストラリア・ノーフォーク島原産ですが、家畜の食害で全滅寸前に…。メルボルン等の植物園で増殖され、花の万博時に大阪へ贈られました。当館では12~2月初旬に沢山花を付けます。



*きれいなヒロインにはとげがある

メコノプシス

植物ファンから秘蔵の花として憧れの「ヒマラヤの青いケシ」。この仲間にはヒマラヤ、チベット、雲南などの3千m以上の高山帯に分布しています。ヤクやウシなどの家畜が近くで飼われていますが、青いケシには小さなとげがあって食べようともしません。そう言えば赤や



ピンクが美しいバラにもとげがありますね。美しいものにはご用心、ご用心…! 当館では、メコノプシスの開花が年中ご覧いただけます。

*出稼ぎの家系!!

バナナ

バナナの実が熟すと、その茎は枯れてしまいます。しかし、これによって横に根付く子株に養分が行き渡り、大きく育つのです。これを繰り返すことでバナナの木は少しずつ移動!! つねに新しい養分のある場所に移っていくというわけです。親は子どもを思いやり、子どもは新しい土地を開拓するバナナは、まるで生物界で種を存続させるお手本のよう。



*乗っ取りの名人

ガジュマル

分類上ゴムノキやイチジクの仲間と言えるガジュマル。見た目は普通ですが、じつはとても恐ろしい性格の持ち主です。ガジュマルの種子は別の種類の木の幹につくことが多く、それが発芽すると徐々に樹木を被い、本来の木を枯らしてしまうほど。見た目と中身の違いに驚かされるのは、どうやら人間界だけでは無いようです。



*色気をふりまくちゃっかり者

カナダオダマキ

アメリカ東部に分布するカナダオダマキ。朱色の花でハチドリを誘います。この小さな鳥のクチバシは細長く、蜜を吸うのに最適。そしてハチドリは、蜜を吸う代わりに受粉を手伝うことになるのです。ちゃっかりした花ですね。ちなみに鳥の愛好家は、家の近くにハチドリの好きな赤い布を下げ、花の色に見せて誘います。結局いちばんのちゃっかり者は人間かも…。



甘い誘惑のハンター

ウツボカズラ

東南アジアを中心に見られる食虫植物には、葉が袋状になっているものがあり、丸くてユニークな形状の袋が特徴です。じつはこの蓋の裏から蜜を出してアリたちを集め、足を滑らせて袋の中の消化液に落下させます。酸で溶かして、最後は養分…。



*パラサイトの達人

ラフレシア

世界最大の花として知られるラフレシア。堂々とした見た目に反し、別の植物(テトラステギマ)から養分をもらって生きていく寄生植物です。寄生と言えば、英語でパラサイト。人間界においてもパラサイトの的な暮らし方をしている人が少なくないで



すが、他人のすねをかじりながら大輪の花を咲かせるラフレシアは、パラサイトの達人かも! ちなみに当館ではラフレシアの標本やテトラステギマもご覧いただけます。